

もち麦料理コンテスト1 6年

4月13日（木）



卒業生、現在大学生の
宮本瑠土さんからの提案

説明を聞いています。高校生が特産品を生かした料理開発をし、大学生の食堂で提供されるプロジェクトです。西栗倉小×大原小×津山東高×大阪経済大が協力して実現します。子どもたちは、5年生までに学んだ村の特産物について高校生に提案することからスタートです。宮本さんの提案から、やってみよう！の火が付いた瞬間です。



ふるさとの良さを生かしたい。アピールしよう！自分たちのアイディアが×（掛け合わされる）ことで、+（プラス）以上のことが生まれる。



子どもたちの感想、振り返りから。「西栗倉小6年と大原小5年だけに任されたから、やる気が出た！」「ぼくも村の発展に協力したいと思った。」「とてもいい取り組み。熱い思いを聞いて、すごく感動した。」初めてのことには、誰しも躊躇します。しかし、自分からの「チャレンジしよう！」は、必ず新しい学びを生む。ここに続く活動が楽しみです。

